

ダニアレルゲンと掃除道具「LaLa」

ITEA 東京環境アレルギー研究所 白井秀治
暮らしの科学研究所 成田泰章

私たちの住まいから見つかる主なダニは、チリダニ科のヤケヒョウヒダニとコナヒョウヒダニです。これらのダニは、畳、ラグやカーペットなどの敷物、ソファやクッションなどの布製で詰め物があるもの、毛布や布団などの寝具などから多く見つかります。

近年、多くの住宅にみられるようになったフローリングの床は、畳やカーペットと異なりダニが潜ることが出来ないため、ダニの温床にはならない床材と考えられます。しかし、フローリングに掃除機をかけてホコリを集め分析すると、ホコリの中からダニの糞のタンパク質が検出されることがあります。フローリング自体は、ダニの住処にはならず、そして、ダニのホコリを発生させませんが、他のインテリア用品から発生したホコリが、フローリングの上に落下して、フローリングの上をダニの糞を含むホコリで汚すことはあるのです。

室内のダニ対策は、生きているダニを減らすだけでなく、死骸や糞などの小さなホコリを取り除くことが大切です。例えば、ダニの温床となる布団については、朝晩の上げ下ろしや寝返り等の行為によって、ダニの糞や死骸を含むホコリがお部屋の中に浮遊することが知られています。その舞いあがったダニのホコリは時間の経過と共に床面に落下します。この落下してきた床面のホコリを、掃除をして取り除くことが大切です。そして、ダニの汚染の低減を維持するために、掃除を継続することと共に、ダニの温床となっているものについて、汚染を減らす工夫を行うことも大切です。

この度、私たちは、ダスキン藤沢社のご協力の下、化学モップ「LaLa」と掃除機の比較として、フローリングの床面への掃除を想定したアレルギー除去と、掃除時のダニアレルゲン舞い上げについての検討を行いました。

この度の検討結果において、フローリング上に落下したダニアレルゲンの除去率の検討では、化学モップ「LaLa」は、ダニアレルゲン除去率が平均で99%超という高いアレルギー除去率が認められました。そして、掃除直後の空中に浮遊するダニアレルゲン量は、掃除機に比べ約1/4量という極めて少ない値でした。

これらの結果から、化学モップ「LaLa」は、床面のダニアレルゲンを除去率が高く、且つ掃除時にダニアレルゲンを舞い上げにくい掃除道具であると考えられます。